

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

1 月号 No.217

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



破魔弓祭り (的ばかい)

玉名郡長洲町の四王寺(しおうじ)神社で行われる800年以上の伝統をもつ西日本三大裸祭りの一つである。

主な内容

- ・年頭挨拶、農業予算要請、
地域水田農業活性化緊急対策の概要
- ・農政連総支部だより：芦北総支部
- ・ガンバッテいます：竹林鉄也さん 橋本千晶さん
- ・各連合会からのお知らせ

明けまして、おめでとうございます。さて、平成二十年の元旦は、冬晴れの穏やかな一日での幕開けとなったが、内外の厳しい情勢での幕開けでもある。

年明け最初の取引が始まった東京金融市場は、日経平均株価が大幅な下落となり、一万五千円を割り込む展開となった。

また円高ドル安は、一気に一ドル一〇八円となるなど輸出関連企業の業績悪化懸念が広がるなど大波乱となった。

更に原油価格は、ニューヨーク市場で一バレル百ドルを突破し、国内石油関係価格も高騰し、これから本格的な寒さを迎える時期に、生活への影響も計り知れない。

こうした中で、政局が混乱している。昨年、突然の安倍首相の辞任後誕生した福田政権は、参議院での与野党逆転の「ねじれ国会」の中で、大変な政権運営である。衆議院の早期解散こそ回避されたものの、七月サミット以降の解散が取りざたされている。

先日、毎日新聞が「次期衆議院選」に対する全国世論調査結果を発表した。この調査で「安倍首相から福田首相になり、政権の性格は変わったか」との問いに、実に六十八%が変わらないと答えている。更に「次の衆議院選の関心度」については、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の合計は八十二%に上っている。また「自民党、民主党のどちらに勝ってほしいか」については、民主四十六%、自民三十三%と、自民党に極めて厳しい結果となった。

自民党は、昨年の参議院選の歴史的な大敗から抜け出せないまま、今年の政治決戦を迎えるのだろうか。まさに正念場である。

せせらぎ

ご挨拶



熊本県農業者政治連盟

委員長 園田 俊宏

新年明けましておめでとうございます。

県下盟友の皆さんには、日頃より農政連の事業・活動につきまして、格段のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて昨年は、私たちの代表として、農業・農村の発展のために大変な努力をいただきました松岡農水大臣を亡くし、併せて参議選で三浦参議を落選させるなど大変な激動の一年でありました。

更に、戦後農政の大転換であります「品目横断的経営安定対策」等が導入されましたが、米価の下落と合わせ、担い手の所得確保もできないなど多くの問題をかかえてきました。このため、我々の強力な農政運動の下に、政府はこれらの見直しをようやく決定したところです。

また、世界貿易機関（WTO）は昨年、農業分野と非農産品分野のモダリティーの合意を断念しましたが、本年二月末には、合意を目指し、予断を許さない状況にあります。

併せて、国政においては、「ねじれ国会」の中で、与野党の攻防は激化し、七月サミット後の衆院解散も取りざたされるなど、波乱含みの展開が予想されます。

平成二十年の新たな年に際し、農政連は山積する課題に果敢に立ち向かい、盟友の付託に全力で応えていく覚悟です。今後の御支援とご協力を心よりお願い申し上げます、新年の御挨拶いたします。

県に農業予算要請

熊本県JAグループ・農政連等の県内十一農業団体は十二月十七日、平成二十年年度県農業政策・予算に関する要望書を潮谷県知事と村上県議会議長に提出した。

園田中央会長（農政連委員長）

をはじめ各種団体の代表が出席する中で、園田会長が代表して潮谷知事に要望書を手渡し、「県内農業者が希望と意欲をもって営農に取り組めるよう特段のご配慮をお願いしたい。」と要請。

これに対し、要望書を受け取った潮谷県知事は「地方の財政は厳しいが、農業者だけでなく消費者も含め、農業の応援団は様々な領域に広がっており、県としても一生懸命、対応していきたい」と述べた。

要請では農業・農村進行対策として『担い手対策への支援』、『農地・水・環境保全向上対策への支援』、『新たな米需給調整システムへの支援』、『食の安全・安心確保対策』のほか、『原油価格高騰対策』、『農地政策の見直し』、『JAグループ共通農業戦略の実践』等の取り組み支援について要望した。

更に、三十四項目の九億百万円の予算要請を行った。

地域水田農業活性化緊急対策が決定されました!

19年産の米価は、米の消費量が年々減少（9万ト程度）する中で、生産調整の取組が十分でないこと等から、大幅に下落する異常事態となっています。このような状況を改善し、地域全体として生産調整目標を達成するため、19年度の国の補正予算で「地域水田農業活性化緊急対策」が決定されました。米以外の作物や非主食用米の生産に挑戦しましょう！



地域水田農業活性化緊急対策の概要

1. 生産調整の拡大を図る農業者の方に、緊急的に一時金を支払います。（この一時金は契約当初1回限りの支払です。）
2. 一時金は、以下の2つの取組を対象として、地域水田農業推進協議会と契約を締結した農業者に対して支払われます。

① 長期生産調整実施契約

【概要】
○20年産以降、麦・大豆、飼料作物等により生産調整を拡大する契約（5年契約）を締結

【交付額】
○19年産の生産調整実施者
5万円/10a
○19年産の生産調整非実施者
3万円/10a

② 非主食用米低コスト生産技術確立試験契約

【概要】
○20年産以降、非主食用米（飼料米、バイオ米等）の低コスト生産技術の確立試験に取り組む契約（3年契約）を締結

【交付額】
○20年産の試験圃場面積（生産調整拡大分）
5万円/10a

○交付金は、20年3月末に一時金として支払われます。（1回限りの支払で契約期間中、毎年交付はされません。）
○交付金の対象となる面積は、20年産で生産調整を拡大する部分です（19年産までの生産調整部分は対象となりません）
（なお、契約期間中に生産調整を実施しなくなった場合は、一時金は返還することになります。）
○地域水田農業推進協議会との契約は、20年2月末までには締結して下さい。



この対策の内容等に関し、ご不明な点がございましたら、各市町村の「地域水田農業推進協議会」（市町村・JA等）またはお近くの農政局（農政事務所、地域課）まで、お気軽にご相談ください。

総支部だより 芦北地区



国政報告会

県下には、十一農政連総支部がありこの活動状況を、毎月順次紹介しています。

今回は、「芦北地区農政連総支部」(高峰博美総支部長・JAあしきた組合長、白坂主税事務局長・JAあしきた管理部長)を紹介します。

芦北地区総支部は、熊本県南部に位置し、水俣市、芦北町、津奈木町の一市二町で構成され、八代海に面した丘陵地帯を利用したデコポン・甘夏等柑橘類の栽培、平野部ではサラダタマネギ(サラたまちゃん)の栽培が行われ特産となっています。さらに近年では、大秋柿の産地拡大に向けて取り組んでおり、芦北牛も注目を集めています。

総支部の活動として、事業年度を毎年四月一日より三月三十一日まで

として、総会を九月に開催し事業報告・収支決算報告、農政連年会費・WT O募金徴収状況、事業計画案・収支予算案、選挙対応などの事項を協議します。

また、空き缶・ビン投げ捨て防止キャンペーンや交通安全運動の実施を展開しています。

「みどりの風」は毎月末に職員の手によってJAが発行している広報誌等と一緒に全盟友へ配布しています。その他にも、昨年十二月に初めての試みとして、農政連主催の国政報告会を芦北町で開き、管内の市町村長や生産者、JA関係者約一一〇人が参加しました。

これまでは代表者を数名選出して上京し陳情してきましたが、「国政についてもっとたくさんの人に知ってほしい。現場・生産者の声を直接国会議員へ伝えたい」という声にこたえて、初めて実施しました。

金子恭之衆議院議員、松村祥史参議院議員兩名が、生産調整や有害鳥獣対策、担い手などについて情勢を報告。

質疑応答にはいると「今の政策では、豊作の年も赤字になってしまふ。天災などに対する保障だけでなく、そういう面での保障も検討してほしい」「大都市と遠隔地の農業の格差が激しい」などの活発な意見や質問が出され、JAあしきた管内における農業振興策を提案し解決に向けての対

策を要望しました。今後もこのような機会を定期的に行い、食糧安保、環境保全、安心安全、

地産地消等を大きくアピールし、地域に根ざした農政活動に取り組みます。



松村祥史参議院議員



金子恭之衆議院議員



田多良龍清理事



高峰博美組合長

竹林 鉄也さん

J Aあしきた



道の駅「田ノ浦」で

●中晩柑産地芦北で

竹林さんは、芦北郡田ノ浦で昭和三四年五月生まれ。芦北高校を卒業後、大分県国東試験場で大型機械の導入、果樹栽培について学び、二十歳で就農しました。果樹栽培は、芦北地方など温暖な気候が適しており、竹林さんの果樹園も又、南面の丘陵地にあります。

現在の経営は、デコポン一・五ha(ハウス三五a)、甘夏一ha、スイートスプリングなど雑柑二haを栽培しています。

●デコポン栽培

果樹、特に、デコポンづくりで大事なのは、良い木を作ること。そのため土作り、肥料作りが欠かせません。環境問題が叫ばれている中、低農薬で育てているのも竹林さんのこだわりのひとつです。

枝の剪定にも気を使います。いかに今まで日光をいれて大きい葉をたくさん

作るかが勝負。

高品質のデコポンを生産するには、着果数を制限し果実の肥大を促します。また、栄養は上に行くので、枝よりも下がらないようにひもで吊るしてやると、味が一ランクアップします。

このように手をかけて育てたデコポンは、十二月からハウスものが出始め、路地もの、冷温貯蔵ものと五月まで出荷が続きます。

●高品質の柑橘を提供

「果樹栽培は、自然との戦いであり、台風、長雨など天候に左右されます。今年のような早魃のときは、タンクに水を入れて灌水。長雨のときは、土壌面をマルチで覆い、水分吸収を押しさえて糖度を高め。また、優良品種への改植などに取り組みます。

これからも剪定や早期摘果に力を入れて、消費者に安心な高品質の柑橘を提供していきたい。」と意欲を見せる竹林さんです。

●今後の抱負

田ノ浦地区の総支部長として、高品質の果樹を作るために、剪定・摘果作業などの技術指導にあたっています。

「組合員の高齢化に伴い後継者は不足し産地継続が難しくなってきました。

十年、二十年後の中晩柑産地として生き残るため、後継者を育てるための対策を講じていきたい。」と抱負を語っていただきました。

橋本 千晶さん

J A熊本市フレッシュミズ「FD21グループ」会長



「なす栽培のハウス内にて」

熊本県熊本市の飽田地区は、県内多数の茄子の産地。そこに、橋本さん宅のハウスがあります。金峰山を北に臨む飽田地区には、見渡す限りに茄子栽培のハウスが並んでいました。

●宮崎から熊本へ

橋本さんは、宮崎県五ヶ瀬町の出身で、高校卒業後、熊本県の短期大学へ進学しました。一般の企業へ就職し働いているときに、農業をしていた旦那さんと出会い結婚。結婚を機に会社を退職し、就農しました。

●畑でデート

「結婚をする前から、農業の手伝いに来ていました。いざ、就農して仕事をしてみると、わからないことがたくさんありましたね。」と農業を始めたころのことを楽しそうに話されていました。

橋本さん宅では、茄子(筑陽なす)をハウス五棟、もち米を二ha栽培して

います。今は、四人の子供に恵まれ、両親と橋本さん夫婦、パート従業員とともに日々農業に取り組んでいます。

●JA熊本市フレッシュミズ

橋本さんが所属する「FD21グループ」は、会員九十人程度で六つの会に分かれて活動をしています。

主な活動として、バレーボール大会や半日旅行など、県内外での幅広い活動をしています。

橋本さんは、その六つの会の一つである、飽田地区の『あじさい会』に所属しています。

『あじさい会』の活動は、子供達と一緒に手芸作りをする親子での活動や、主婦同士の交流の場として食事会などをしていきます。

●今後の期待と抱負

橋本さんは、今後の抱負として、「これから、もっとたくさん(農家の)奥さん達が興味を持って入ってもらえるように、食育を学べる料理教室や商品研究のための研修会などの新しい活動をしていきたい。

フレッシュミズの活動が、情報交換の場として利用してもらえたらうれしいですね。

そして、少しでもまた新しい会が増えてきてくれることを期待しています。」とこれからのフレッシュミズへの期待を話していました。

J A 中央会

熊本県地域営農組織連絡協議会を設立

〓初代会長に大津隆満さん〓

熊本県地域営農組織連絡協議会は十二月十八日、熊本市で協議会設立総会を開き、各地域の集落営農組織代表や行政、J A 関係者ら約九十人が出席し、各組織のリーダーが、地域営農組織の健全な経営と地域農業の持続的発展を図るため、今後、五年後の法人化をにらみ、地域営農組織の連携に関係機関一体となつて取り進むことなどを決めました。

今回設立に参加したのは十地域から営農協議会と連絡会など十組織。

重点取組事項として①組織リーダー・経営者の育成・支援②地域営農組織（法



あいさつする協議会役員

人含む)の生産性向上とコスト低減

③農地の利用集積④担い手育成のため
の行政などへの政策提言⑤地域営
農組織間の連携強化―を掲げました。

役員選任では、会長に大津隆満さん
(J A 熊本市営農組織協議会)、

副会長に樋口誠之さん(菊池地域集
落営農組織連絡会)と大澤洋一さん(宇

城地域集落営農組織連絡協議会)が
選ばれました。

平成二十年産米の市町村別需要量を交付

〓熊本県水田農業推進協議会総会〓

二〇〇七年度熊本県水田農業推進協議会総会が十二月十三日、J A 経済連会議室で開かれ、〇八年産米の市町村別需要量を昨年同様の二〇万六、四六〇トを決定し県下市町村に配分しました。

J A 中央会会長や経済連会長、県市町村会の代表ら約二十人が出席しました。

協議では、〇八年度産米の需要量(生産目標数量)は、国から示された昨年同様の二〇万六、四六〇ト、面積換算値四万〇、〇九〇ヘクタールを、

十四日に県下市町村に交付しました。今年も昨年同様の数値でしたが、市町村別では増加二十二、減少二十三、同量二となりました。

その他、産地づくり事業分や、内報額も昨年同額となりました。

J A 経済連

くまもとのお米「しあわせ米こむ」

〓キャンペーン〓

くまもとと売れる米づくり推進本部は六日、くまもとのお米「しあわせ米こむ」キャンペーンの抽選会をJ A 熊本経済連で行いました。十三回目となる今年の応募総数は二万二五二六通。厳正な抽選の結果、特賞四十名、一等から三等各五〇〇名計一五四〇名の当選者が決定しました。

キャンペーンは「くまもとのお米」の販売拡大と卸・小売業者の活性化が目的。消費者に日ごろの感謝を込め、県内米穀販売業界及びくまもとと売れる米づくり推進本部が一体となりキャンペーンを行いました。期間中にくまもとのお米であり米穀販売業者精米であることを条件に精米袋にシールを添付し、消費者からシールを張ったはがきで応募してもらいました。

プレゼントの内容は次のとおり。

- ▽特賞Ⅱ 五万円の選べるギフトカード
- ▽Ⅰ 現金三



厳選に行われた抽選会

千円▽二等Ⅱ レジャーチェア&保冷バッグ▽三等Ⅱ エコリサイクルセツト

J A 農機実演試乗ビッグフェスタ2007



移植機の実演を熱心に見る来場者

J A 農機実演試乗ビッグフェスタ二〇〇七が十一月二十八日から二十九日までの二日間、合志市の熊本県立農業大学校園場

において、県下J A・J A 熊本経済連の主催により六〇〇人の農業者を迎え開催されました。二十八日に行われた開会式には、県・全農、J A、協賛メーカーなどの関係者約一五〇名が出席しました。

会場内には、米・麦・大豆・野菜を対象とした機械が十二社の協賛メーカーから出展され、安定的な農業経営を支援する低コストの農機の実演をメインに実施されました。

この実演試乗会が行われたのは昨年につづきが二回目。来場者はスタッフが説明する実演を熱心に聞き入り、それぞれの目的の機械に試乗し、操作を試していました。

JA教育ローン「希望」が
お手伝い

いよいよ受験シーズンとなりました。「お子様の夢をかなえてあげたい！でも教育費が…」というご家庭に耳寄りな情報です。

JAでは、お得なJA教育ローン「希望」をご用意いたしております。

高校以上の学校に就学予定、就学中の子弟をお持ちの方を対象に入学金や授業料等、必要な資金を最高50万円までご利用いただけます。

キャンペーン期間中（平成十九年十二月三日（月）～平成二十年三月三十一日（月））にお申込をいただきますと、優遇金利を適用し、国民生活金融公庫の教育資金金利（平成十

JA教育ローン商品概要

平成19年12月3日現在

保証機関	熊本県農業信用基金協会	南日本ニコス
ご利用いただける方	・組合員または組合員になれる方 ・高校以上の学校に就学予定または就学中の子弟を有すること ・20歳以上、最終償還時71歳未満の方 ・原則として勤続(営業)年数および地区内居住年数が1年以上の方 ・年取が正組合員150万円以上、准組合員200万円以上の方	・高校以上の学校に就学予定または就学中の子弟を有すること ・継続して安定した収入がある方 ・原則として20歳以上65歳以下の方 ・原則として勤続年数が1年以上、または2年以上の営業実績を有する方 ・南日本ニコスの保証を受けられる方
お使い道	入学時：入学金など入学時に必要な資金 在学時：授業料など1年以内に必要な資金とします (借入申込日より2ヶ月前に支払済みとなった資金を含む)	・就学子弟の入学金、授業料、学費および下宿代等とします
お借入限度額	500万円以内(1万円単位)とします(所要金額の範囲内)	10万円以上300万円以内(1万円単位)とします
据置期間	借入日より借入対象子弟の卒業予定年月末日の6ヶ月後までに到来する利払い日までの範囲内とします	最長4年以内(在学期間内)とします
お借入期間	据置期間を含め最長13年6ヶ月(在学期間+7年6ヶ月)の範囲内とします	10年以内(1年単位)とします(据置期間+返済期間6年以内)
お借入金利	・固定金利型：年2.5% ・変動金利型：JA毎に取扱いが異なりますので、最寄のJAにお問い合わせください	
保証人	原則不要	保証会社が必要と認められた場合は必要となります
ご返済方法	元利均等で次のいずれかの方法： ①毎月払い ②毎月払い+半年賦 ③半年賦 ※③については農業者のみとします	元利均等、元金均等で次のいずれかの方法： ①毎月払い ②毎月払い+半年賦 ③半年賦
担保	不要	
保証料	正組合員：年0.36% 准組合員：年0.50%	年1.5%

*ローンのご利用は、各JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます
*ローン商品の詳しい内容については、店頭で説明書をご用意しております。
*店頭にて返済額の試算を承っております。
*審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
*ローンをご利用中に、繰上げ返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途各JA所定の手数料が必要となります。

九年十二月三日現在(二・五%)と同じ固定金利型、もしくは変動金利型(JA毎に取扱いが異なりますので、最寄りのJAにお問合せ下さい。)

のいずれかを「選択」できます。また、熊本県農業信用基金協会保証の場合、ご返済の期間は最高十三年六ヶ月以内(据置期間を含む)となり、据置期間中は利息だけのお支払いとすることもできますので、元金はお子様が学校を卒業されてからご返済することもできます。

なお、キャンペーン期間中に契約いただいた方は、入学時および在学時に必要な資金の振込手数料が半額(八回分)になりますので大変お得です。

是非、お子様の夢をかなえてあげるためにご利用下さい。詳しくは、JA窓口にお気軽にお尋ねください。

大塚愛理さんが「文部科学大臣奨励賞」を受賞
平成十九年度全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール全国大会

平成十九年度全国小・中学生第五十一回書道・第三十六回交通安全ポスターコンクールの全国大会最終審査が、JA共済連全国本部で開催されました。

熊本県からも、熊本県大会で特別

●平成19年度 書道コンクール全国大会入賞者

賞	学校名・学年	氏名	JA名
文部科学大臣奨励賞(半紙)	南関町立南関第二小学校	大塚 愛理	たまな
JA共済連会長賞(条幅)金賞	菊池市立泗水中学校	青木 未央	菊池
〃(半紙)銀賞	宇城市立松橋中学校	高原 彩乃	熊本うき
〃(半紙)銅賞	宇城市立松橋小学校	古嶋 美愛	熊本うき
〃(半紙)佳作	熊本市立高平台小学校	山口 純輝	熊本市
〃(条幅)佳作	八代市立麦島小学校	松村 真好	やつしろ
〃(条幅)佳作	益城町立益城中央小学校	遠藤広太郎	かみましき

●平成19年度 交通安全ポスターコンクール全国大会入賞者

賞	学校名・学年	氏名	JA名
JA共済連会長賞 金賞	天草市立福連木小学校	野口 竜也	あまくさ
〃 佳作	天草市立福連木小学校	瀧本 咲	あまくさ
〃 佳作	天草市立城河原小学校	田中日奈子	本渡五和

賞・金賞を受賞された二十七作品(書道半紙：九、書道条幅：九、ポスター：九)を県代表として出展しました。その結果、書道半紙の部で、大塚愛理さんが栄えある「文部科学大臣奨励賞」を受賞されたのをはじめ、十作品が入賞されました。全国から寄せられた優秀な作品の中から見事入賞されました皆さん、本当におめでとうございます。

なお、大塚愛理さんは二月一日に東京で行われる表彰式に出席される予定です。



- 農政連委員会
- 農政連総支部だより：球磨総支部
- ガンバッテます：2名
- 中央会・連合会からのお知らせ

あとがき

● あけましておめでとうございます。お屠蘇をいただき新年を迎え、気持ち新たにしているところです。皆さんも今年こそは良い年にしようと思い、初詣に行かれたと思います。嵐は十二支の始まり。昔から「一年の計は元日にあり」と言われるように、すべてが「この元旦の決意」で決まるのです。決意を新たに、笑顔で頑張りたいものです。

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければご幸甚に存じます。

連絡先 熊本県農政連
電話 096132811284
FAX 096132615807

JAバンク熊本

希望膨らむ学園生活、JAバンクが応援します。

JA教育ローン

希望キャンペーン 2007

固定金利型 年2.5%

キャンペーン期間 平成19年12月3日[月] ▶ 平成20年3月31日[月]

キャンペーン期間中、JAで「教育ローン」を申し込まれた方にキャンペーン優遇金利を適用します。
ご注意 ●固定金利型の表示金利は、平成19年12月3日～平成20年3月31日にお申し込みいただいた場合の適用金利です。（お申し込み時の金利が適用されます）。
●適用金利は金融情勢等の変化により上記期間中に見直しをいただく場合があります。

JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌

ちゃぐりん



良質な児童文学や児童画、楽しいマンガ、食と農の学習などの企画に力を入れ、勉強と遊びの両輪で感情豊かな子を育むことを目指しています。

定価：普通月号 470円
ふるく月号 550円

社団法人 家の光協会 ちゃぐりん編集部
購読のお申し込みはお近くのJA（農協）へ

● JA熊本中央会 ●

JA共済

あなたのカーライフに、幅広い保障と充実のサポートを。



充実の自動車保障

自動車共済のお見積もりサービス実施中！
<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>

●詳しくは、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。
■ホームページアドレス<http://www.ja-kyosai.or.jp>

家庭用自動車共済 あんしんDX スーパー

サンキューキャンペーン実施中！ <http://www.3cja.jp>
07481050086

第33回 熊本の春の訪れを告げる緑の祭典

植木まつり

平成20年 1月26日(土) ▶ 2月25日(月)
午前9時～午後5時
熊本県農業公園【カントリーパーク】



JA熊本経済連